

アジアの女性と子どもネットワーク

# AWC通信

## 学校建設から15年を経て

私たちは、チェンマイのバンメーランカムスクールの学校建設を1998年に実施しましたが、それ以来毎年訪問しています。今年新しい校長先生が赴任しました。農業が専門のマニット先生です。9月30日にメーランカムスクールでマニット先生のお話を聴くことができました。

この学校に赴任される前も同じサムーン郡の山岳民族の子どもたちの学校にいたため、メーランカムスクールの子どもの置かれている立場や状況をよく理解しておられます。マニット先生は、メーランカム村周辺の農業はこれまで自分たちが食べるものだけ作っていましたが、将来を考え、作物を売ることができるような農業を教えたい、また、これまでの生活や習慣を維持していくことも重要だけど、現代社会に合わせて少しずつ変化させていくことも必要ではないかと抱負を語って下さいました。

メーランカムスクールには現在、幼稚園から小学校まで全部で女子82人、男子93人の計175人の生徒がいます。2012年度の卒業生の70%は進学し、高校で勉強を続けています。9月中旬にチェンマイ県第二地区の5つの郡の子どもの勉強を競う大会があり、メーランカムスクールの生徒たちは金メダル2個、銀メダル3個といくつかの銅メダルを獲得したそうです。金メダルは、日本語部門と造形部門で作った姿見作成で、銀メダルは英語のストーリーテリングとコンピューターソフトウェアと、中学生のボーイスカウト・ガールスカウト活動での入賞でした。校長先生は、地域大会に出て、素晴らしい成果を成し遂げたことを誇りに思うとおっしゃっていました。



小学生の教室

金メダルを受けた「日本語」を教えているのは以前にもご紹介した、パッカモン先生です。1998年に私たちが校舎建設を実施したことでタイ政府から中学校としての認可があり、初めて誕生した13人のうちの一人です。日本からの支援で勉強を続けることができたという思いから日本語を勉強し、現在はメーランカムスクールで子どもたちの寮の先生をしながら日本語も教えています。時々、とても流暢な日本語の手紙がAWCに届きます。日本語の勉強ではどんなことを教えているのかを尋ねたら、「あいうえお」を教え、挨拶などもできるようにしているとのこと。チェンマイの山の村で一生懸命に日本語を勉強している子どもたちがいることを思うと、私たちの次の活動への大きなエネルギーとなります。タイの子どもたちが日本の事を思うと同じように、私たちが彼らの事を考えていきたいと思えます。

## 差別や排除のない社会の実現を目指して

9月28日、AIDS孤児施設のハウスオブラブを訪問しました。子どもたちはとても元気で、会うたびに大きくなっていることに喜びを感じました。この施設を初めて訪問した時に、近隣の幼稚園から入園を拒否されるという差別を受けていた子どもたちも、すでに高校を卒業し、今は自分たちの夢に向けて施設を離れて勉強をしているそうです。親からHIVをもらってしまった子どもたちも、ハウスオブラブのスタッフたちの手厚い保護のもと、元気に成長していることに、私たちが勇気をいただきました。

支援キルトの会ふーぷ、ベビーキルトかわさき、QUILTS SESSIONからご寄付いただいたキルトは大変喜ばれました。私たちがこの子どもたちにできることは奨学金や薬代を届けることと、毎年訪問して、元気な様子を確認することしかありませんが、これからも微力ながらも協力を続けていきたいと考えています。そして、この子どもたちの様子を伝えながらHIV/AIDSへの理解を深め、差別や排除のない社会の実現を目指していきたいと思えます。



日本からのキルトを届けました

## かいこプロジェクト

「かいこプロジェクト」は、タイの山岳民族の子どもたちやストリートチルドレンの自立を目的に2012年から開始した事業です。タイでは、昔から養蚕が盛んでしたが、近年は化学繊維が便利のために、養蚕をする農家が減ってきています。しかし、最近では天然繊維の良さやシルクの機能が見直され始めています。桑を植え、蚕を育て、まゆを売るといふ昔からタイで行われていたことを、子どもたちと共に行い、これを自立につなげようというこのプロジェクトは、新しいものを持ち込むのではなく、タイで昔から行われていたことなので、土地にも事業に携わる人にも無理のないプロジェクトです。

子どもたちは養蚕を通して生き物を育てることの素晴らしさを同時に学ぶことができます。

2回目の養蚕に挑戦している「子どもの家」を訪問しました。前回の養蚕では、桑の葉が足りずに養蚕施設まで桑の葉をもらいに行くなど苦労もあったようですが、今回は頼もしい助っ人がいました。アサン君とアソー君です。私が訪問したときは、ちょうどかいこが糸を吐き始める直前だったため、ものすごい勢いで桑を平らげていくかいこの世話でとても忙しい様子でした。

アサン君とアソー君の二人は、以前は「子どもの家」で暮らしていましたが、現在チェンマイ農業高校の3年生です。タイの専門学校や大学では実地研修（インターンシップ制度）があります。しかし、アサン君とアソー君の二人は、タイ国籍を持たず、他の国籍もない無国籍の状態であるために、研修の受け入れ先を探すのが難しかったようです。

北部タイに住む山地民の中にはタイ国籍を持たない人が未だに沢山います。タイで産まれた子どもでも両親（またはそのどちらか）が、タイ国籍を持っていない場合、その子どもは国籍を得る事が非常に困難です。

山地民のコミュニティでは、それぞれの言葉・風習があり、タイ語があまり理解できない人もいます。難解な法律用語が含まれるような国籍取得のための書類を作成して役所に提出することは大変難しいことです。

国籍を持たないというのは、社会保障・教育・就職すべての生活において圧倒的に不利な立場におかれます。

不安定な生活を脱するために国籍を得たいと思う気持ちに付け込んで、偽の国籍を売買しようとする人や、役人が賄賂を要求するという問題もあります。アサン君とアソー君も言葉巧みに騙され、偽の国籍取得に関与してしまったためにますます国籍を得る事が困難になってしまいました。

タイ国内に住む国籍の山地民の多くは「タイ国籍」はまだ得られないけれど、居住の権利は得ており、何らかの身分証明書を持っているというケースがほとんどですが、アサン君とアソー君はそれすら取得するのが難しいのです。不安定な立場の彼らを受け入れようとする企業は少なく、「子どもの家」が研修の受け入れ先になったのです。

彼らの仕事ぶりはとても真面目で、「子どもの家」で暮らす子どもたちにとって、とても良いお手本になっています。国籍がないという、子どもたちには何の責任もないことで辛い経験をせざるを得ない子どもがいます。将来的には彼らのように様々な理由から企業などへの就職が難しい子どもが養蚕で生計を立てることが出来るようにプロジェクトを発展させたいと思います。



桑は2ヶ月で2mの高さまで成長



かいこ小屋は廃材で手作りしました



初めての養蚕



まゆができました



さなぎは子どもたちの大好物です



## おなかいっぱいプロジェクト

今年も「おなかいっぱいプロジェクト」ではチェンライ県の子どもたちの家の支援を行いました。

この施設では、3月から5月の夏休み中に、他の地域の学校に行っている子どもたちが施設に戻るため、子どもの総数が128名になります。通常は一カ月につき平均で10袋（1袋45Kg）の米を食べていますが、夏休み中は平均で20～25袋の米が必要となり、毎年この時期は食費が予算をオーバーしてしまいます。

これまでは予算の関係から古米や割れた米しか食べさせられなかったのですが、今年はAWCからの支援で、玄米や、品質の良い白米を食べることができ、お米からのビタミン摂取量が増えたおかげで子ども達の栄養バランスが良くなり、ほぼ全員の体重が増加したそうです。



全員そろってごはんの時間

子ども達の多くは、幼い頃の食事の栄養不足が原因で身体の発育が良くありません。その中でも、特に12名の子ども達の発育の遅れは深刻です。身体の成長、脳や知能の発達を促し、病気の予防にも効果があるビタミンを中心とした栄養補助食品を摂取する必要がありますが、高価なため、なかなか購入できませんでしたが、今年はそれを買うことができました。さらに、支援金で浄水器を修理し、冷水器を設置することもできたので、安全で冷たい水をいつでも飲むことができました。

### 書き損じはがき ご寄付のお願い

「おなかいっぱいプロジェクト」では、皆さまからご寄付いただいた書き損じはがき2枚で3食分の給食食材費になります。育ち盛りの子どもがバランスのとれたご飯をおなかいっぱい食べられるように、ぜひお手元に書き損じはがきや未使用の切手がありましたら、AWC事務局までお送り下さい。よろしくごお願い申し上げます。

AWC事務局：〒231-0015 横浜市中区尾上町3-39 尾上町ビル9F YAAIC内

## “きらりんきっず”から手紙がとどきました

私たちは東日本大震災の復興支援として、2011年から岩手県陸前高田市の子育て支援施設「親子のひろばきらりんきっず」を応援しています。この団体は震災以前に設立され活動をしていましたが、津波で施設が流されてしまいました。施設はなくなりましたが、震災直後から避難所内居場所を作り、避難所で生活する親子が安心して過ごせるようにし、離乳食や粉ミルク、アレルギー対応食などの配布を行うなど、子育て中の親たちを支援する活動を開始しました。現在は、仮設住宅で暮らす人々の子育てが孤立しないように、様々な活動を展開しています。



きらりんパパ育児講座「男の料理教室」

今年からは父子家庭になってしまったお父さんからの発案で、父子家庭の支援も開始しているそうです。

AWCでは今年もウォーターサーバーの水を送りました。

### きらりんきっずからの手紙

活動場所ができたおかげで、子ども達にとり、大切な「食」の機会を何度も開催することができました。皆様のご支援のおかげで安心して飲めるおいしい水が幾度となく役にたちました。

あるときは、郷土料理だったり、体にやさしいおやつだったり子ども達の記憶の中にきらりんきっずで、おいしい物をみんなで一緒に食べたことは忘れられない記憶として思い出として心に残ってくれることでしょうか。

自分たちのかけがえのない故郷の自然の恵み、文化、食の大切さを体験することをこれからも多くの子どもとお母さん、お父さんと共に共有していきたいと思っています。

おやこの広場 きらりんきっず

## イベントの報告

今年も国際協力やAIDS予防啓発のイベントをはじめとし、ミレニアム開発目標（MDGs）普及啓発イベントや若者達主催のライブイベントにも招待参加しました。

### 参加した主なイベント

- ・中区多文化フェスタ（横浜市技能文化会館）3月2日
- ・国際女性デー2013（戸塚女性フォーラム）3月19日
- ・あーすフェスタかながわ（あーすプラザ）5月11日～12日
- ・MDGs フェスタ（赤れんが倉庫）6月2日
- ・ふれあい交流の広場（神奈川県民サポートセンター）6月4日～6日
- ・Wish for stars in the world（渋谷LOOP）7月5日
- ・AIDS文化フォーラム in YOKOHAMA（神奈川県民サポートセンター）8月2日～4日
- ・東南アジアとともにあゆむ未来（JICA横浜ギャラリー）9月10日～10月28日
- ・グローバル・フェスタ・ジャパン2013（日比谷公園）10月5日～6日
- ・よこはま国際フェスタ2013（象の鼻パーク）10月19日～20日
- ・AIDS文化フォーラムin 陸前高田（陸前高田 第一中学校）11月23日
- ・世界AIDSデーイベントin よこはま（横浜SOGO前イベントスペース）11月24日
- ・シルキークリスマス（シルク博物館）12月3日～25日
- ・中区多文化フェスタ（横浜市技能文化会館）12月15日



「アフリカ開発会議」開催中に赤れんが倉庫で行われた「MDGs フェスタ」会場は、多くの親子連れで賑わいました。

## ご寄付・ご協力ありがとうございました

2013年1月～12月

（敬称略・順不同）

**かいこプロジェクト** 森川洋子、佐々木雅祥、阿部潔、神保隆二、西川公久、高品都、関谷裕子、巽司、大江泰子、長谷川好子、花谷泉、川口幸博、ソロプチミスト広島中央、矢ヶ崎佐和子、大野佐和子

**おなかいっぱいプロジェクト** 浅井久仁臣、田中雅明、百崎玲子、佐々木律、吉池和子、日比三枝子、松井明子、竹内知珠子、佐々木雅祥、武藤勝司、加川守男、神保隆二、寺尾和子、山本典子、六波羅昭、山本美恵子、青山佳子、西川公久、尾形登志雄、阿部潔、阿部由紀子、高品都、大濱悦子、佐藤志津子、柳原秀子、村田順子、北爪一夫、田中哲夫、佐野公俊、朝廣玲子、池山洋二、秋山洋子、国際ソロプチミスト横浜、齋藤徹、関谷裕子、巽司、加藤弘子、鈴木勇、川口幸博、福島生子、金子安男、長島道子、ソロプチミスト広島中央、桑原惇子、花谷泉、岡部淑夫、星野牧子、(株)丸進不動産、恵津子JulietRose、沓掛典子、支援キルトの会ふーふ、新倉史朗、黒須春美、矢ヶ崎佐和子、

**東日本大震災支援** 繁村弘子、矢ヶ崎佐和子

**AIDS孤児里親基金** 早川すみえ、阿部潔、神保隆二、高橋邦尚、西川公久、重原文明、宮本利行、伊藤恭子、伊藤たま江、岩瀬佳子、齋藤徹、巽司、関谷裕子、支援キルトの会ふーふ、宇都宮ロータリークラブ、花谷泉、高橋清実、ソロプチミスト広島中央、武井晴子、繁村弘子、黒須春美

**AWC基金** 林恵子、中村田鶴子、高橋巍、岩井要、酒井ユリ子、秋元千代子、岡部淑夫、阿部潔、川辺次郎、鶴田寿治、林八重子、エンター光代、大江泰子、佐々木泰子、幼き聖マリア修道会、茶木一城、高橋恒一、伊藤源子、中村照代、Girls for Girls、小鮎恵子

**書き損じはがき** 稲葉まり、今井忠三、山本久美子、林恵子、伊東喜代治、橋本美史、尾形登志雄、重原文明、高村敦子、橋本美史、佐藤みどり、中村田鶴子、沖津久美子、笠本雅巳、山崎範子、佐藤志津子、高橋巍、山田はな江、北爪一夫、村田順子、河本聡子、伊藤康子、柳原秀子、岡田靖子、田中哲夫、阿部潔、岡部淑夫、朝廣玲子、小松一郎、大江泰子、柘植明子、伊藤恭子、秋山洋子、山本博子、内山章、津田厚子、河地安彦、嶋岡由吏(株)格付投資情報センター管理本部、比企しずか、池谷朋子、川口幸博、関谷裕子、河津久枝、大槻裕美、城条洋子、相川治世、巽司、金子安男、芦田利恵、川辺次郎、堤澄子、高階志津江、高安照代、伊藤美智子、茨木夢子、高田ミチ子、佐々木律、大江泰子、堀江昭、稲葉浩子、高安照代、中川順子、落合貴美恵、大川春良、鶴田寿治、佐藤真吾、林八重子、長谷川妙子、熊谷真也、渡辺麻子、馬淵信彦、野尻悠紀子、竹田英一啓子、ガールスカウト山梨県連盟、小箱かのん、菊池幸江、斎藤美恵子、南恭子、ベビーキルトかわさき、市原多美子、大橋真理子、山本佳世、田口恵子、原千登世、富田夏音、仁藤里香、ANY、東京YWCA、板垣慈子、川野碧、安藤芳子、金子セツ子、林孝子、宮崎恵子

※記載漏れ、間違いなどございましたらお手数ですが事務局までご連絡ください。

### 送金報告（2013年1月～12月）

かいこプロジェクト 160,000円

おなかいっぱいプロジェクト 105,000円

東日本大震災支援 45,000円

AIDS孤児里親基金 150,000円

### ご寄付のお願い

アジアの女性と子どもネットワークの事業は皆さまのご寄付で実施しています。皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

郵便振替 00200-2-4109

口座名：AWC



発行元:アジアの女性と子どもネットワーク 発行責任者:山本博子 編集担当:安藤芳子、落合貴美恵、原梓  
〒231-0015 横浜市中区尾上町3-39尾上町ビル9F YAAIC内  
TEL/FAX 045-650-5430 E-mail : awc@h6.dion.ne.jp  
URL : <http://www.awcnetwork.org>